

2025年度 ダブルディグリープログラム概要及び募集概要

	国立中央理工科学学校 (Ecole Centrale)		国立応用科学院リヨン校(INSA Lyon)	スウェーデン王立工科大学(KTH)
	CentraleSupélec, Méditerranée, Lyon, Nantes and Lille	CentraleSupélec		
プログラム概要	学部3年次に渡仏し、約1年9ヶ月間、Ecole Centrale5校のうちの1校に在籍し授業の履修等を行う。帰国後、本学の学部4年次に復学し、本学学士号を取得の後、博士課程前期課程に進学する。東北大学及びEcole Centraleが其々定める修士レベルの学位授与要件を満たした際に、下記学位の取得が可能。	博士課程前期1年次に渡仏し、約1年間、CentraleSupélecに在籍し授業の履修等を行う。帰国後、本学の博士課程前期2年次に復学し、東北大学及びCentraleSupélecが其々定める修士レベルの学位授与の要件を満たした際に、下記の学位の取得が可能。	博士課程前期1年次に渡仏し、約1年6ヶ月間、INSALyonに在籍し授業の履修等を行う。帰国後、本学の博士課程前期2年次に復学し、東北大学及びINSALyonが其々定める修士レベルの学位授与の要件を満たした際に、下記の学位の取得が可能。	博士課程前期1年次に渡瑞し、約1年6ヶ月間スウェーデン王立工科大学（以下、「KTH」という。）に在籍し、授業の履修及び研究活動を行う。帰国後、本学の博士課程前期2年次に復学し、東北大学及びKTHがそれぞれ定める修士レベルの学位授与の要件を満たした際に、下記の学位取得が可能。
取得可能学位	〔東北大学〕 修士号 〔Ecole Centrale〕 Diplôme d'ingénieur	〔東北大学〕 修士号 〔Ecole Centrale〕 France Master	〔東北大学〕 修士号 〔INSALyon〕 Diplôme d'ingénieur	〔東北大学〕 修士号 〔KTH〕 Civilingenjörsexamen (Degree of Master of Science)
対象学部	理、工			理、工、農
募集対象者	以下の条件を全て満たす者 (1) 理学部又は工学部所属の学部2年生（2024年度） (2) Ecole Centraleで授業履修可能なレベルのフランス語能力及び英語能力を有する者 フランス語力はCEFR B1以上であること LyonはTOEFL(ITP 590、iBT 96)、又はIELTS 7.0以上 MéditerranéeはGPA 3.5-3.6/4.0以上 (3) Ecole Centraleから帰国後に本学の学士号を取得し、尚且つ、本学の理学研究科、工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科の博士課程前期の課程に進学予定の者	以下の条件を全て満たす者 (1) 理学部又は工学部所属の学部4年生（2024年度） (2) Ecole Centraleで授業履修可能なレベルのフランス語能力及び英語能力を有する者 (3) Ecole Centraleの派遣開始時までに学士号を取得し、本学の理学研究科、工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科の博士課程前期の課程に進学予定の者	以下の条件を全て満たす者 (1) 理学部又は工学部所属の学部4年生（2024年度） (2) 原則、INSALyonに応募の時点でフランス語学力がCEFR A2（TCF 200-299点相当）以上を取得している者 ただし、プログラム開始前にフランス語力がCEFR B1（TCF 300-399点相当）以上であること (3) INSA Lyonでの派遣開始時までに学士号を取得し、本学の理学研究科、工学研究科、情報科学研究科、環境科学研究科の博士課程前期の課程に進学予定の者	以下の条件を全て満たす者 (1) 理学部、工学部又は農学部所属の学部4年生（2024年度） (2) KTHでの授業履修及び研究を行ううえで十分な英語能力がある者 TOEFL（ITP 550点、iBT 79点）、又はIELTS 6.0（各セクション5.0以上）以上 (3) KTHでの留学開始時までに、学士号を取得し、本学の工学研究科、農学研究科、情報科学研究科、生命科学研究科、環境科学研究科のいずれかの博士課程前期の課程の最初の3ヶ月を履修する者
派遣期間	2025年夏期から約1年9ヶ月	2025年夏期から約1年間	2025年夏期から約1年6ヶ月	2025年夏期から約1年6ヶ月
指導言語	フランス語 * 必要に応じ英語での教育・指導が行われる場合がある	フランス語 * 必要に応じ英語での教育・指導が行われる	フランス語	英語
備考			学位を授与されるには、フランス政府の規程に基づき、英語とフランス語でB2レベルに相当する水準に達していなければならない。	
推薦締切	2024年11月21日（木）			